



新潟市報道資料

令和8年9月17日

古町のこれからを作る3日間「リノベーションスクール@新潟市」開催 ～10月4日（日）公開プレゼンの観覧者を募集中！～

新潟市が推進するリノベーションまちづくりの一環で古町エリアにて「リノベーションスクール@新潟市」を開催します。受講生が3日間で地域課題の把握・エリアを再生するコンテンツと事業プランを検討します。3日目には、受講生が練り上げた事業プランの公開プレゼンを行いますので、観覧者を募集しています。

本取組みの取材もお受けします。広報活動にご協力ください。

■リノベーションスクール@新潟市

日時：10月2日（金）～4日（日）

会場：木揚場教会

■公開プレゼン（ファイナルプレゼン）

日時：10月4日（日）15時30分

会場：NEXT21 19階

定員：100名

参加費：無料、事前申込制

※詳細は別紙フライヤー参照

【問い合わせ】

新潟市都市政策部 担当：稲葉・福村

電話：025-226-2716（直通）

メール：niigata2km@city.niigata.lg.jp



新潟市都市政策部 行き（担当：稲葉・福村）
FAX：025-229-5150

令和8年度 リノベーションスクール@新潟市
及び、公開プレゼン（ファイナルプレゼン）
取材申込書

貴社名	
人 数	
代表者	
連絡先	

令和8年9月30日（水）正午までに、FAXまたはメールにより
新潟市都市政策部 政策監グループ宛てに送付してください。

【取材先等】

- リノベーションスクール
 - 日時：令和8年10月2日（金）～4日（日）
 - 会場：木揚場教会（中央区礎町通上1ノ町1957）
- 公開プレゼン（ファイナルプレゼン）
 - 日時：令和8年10月4日（日）15:30～18:00
 - 会場：NEXT21 19階（中央区西堀通6番町866）

【取材における留意事項】

- 取材の際は、必ず自社腕章を着用してください。
- 取材にあたっては現場担当者の指示・誘導に従ってください。

第3回リノベーションスクール

@新潟市

古くて新しい。
このまちでは(め)よう。

2026

青木純
スクールのマスター



- 株式会社まのくらし 代表取締役
- 株式会社nest共同代表
- 株式会社都電家守舎 共同代表

柿原優紀
ユニツタマスター



- tarakusa株式会社
代表取締役・編集ディレクター
- たらく文化旅行舎 代表・旅行業務取扱管理者

アリンソン
理恵
ユニツタマスター



- 建築家
コーヒースタッフMIAMIA/
カルチュラルキオスクIAM共同代表

柳瀬武彦
ユニツタマスター



- YOU INC. 代表

にいがた2km
古町エリアの
遊休不動産を対象。

10月2日(金)～4日(日)

木揚場教会 新潟市中央区礎町通上1ノ町1957

募集要項

- 定員 18名程度
- 参加費 ※ 一般 15,000円 / 学生 10,000円
- 申込期限 8月16日(日) 24:00
- 主催 新潟市
- 企画運営 株式会社リノベリング

※受講料の他に、スクール中の飲食代(パーティー参加費含む)は自己負担になります。

スクール受講生は、参加動機や参加メンバーのバランスなどを考慮して、選考の上で参加可否をご案内させていただきます。

ファイナルプレゼン

- 日程 10月4日(日)
- 時間 15:30～18:00
- 会場 NEXT21 19階 新潟市中央区西堀通6番町866
- 参加 参加費無料、事前申込
- 定員 100名程度
- 申込期限 10月1日(木) 24:00

ファイナルプレゼンは、どなたでもご参加いただけます。

RENOVATION
SCHOOL

2km

転職生募集中!!

古町で事業やチャレンジをしたくて、全日程に参加できて、
自分のスキルを活かしてまちに関わりたい方、募集。

古町のこれからをつくる3日間。

第3回リノベーションスクール

@新潟市

古くて新しい。
このまちをほぐそう。

2026

リノベーションスクール@新潟市とは

空き家や空き店舗などの遊休不動産を新しい方法で活用・再生し、地域の課題を解決していく「リノベーションまちづくり」の担い手を育成するための実践的な講座です。スクール(3日間)では、受講生が専門家とチームを組み、古町エリアの空き店舗や公共空間を対象に、利活用案と事業計画を作成、不動産オーナーに提案し、事業の具体化を目指します。

青木 純

1975年東京都生まれ。コミュニティが価値を生む賃貸文化のバイオフィア。「青豆ハウス」(2014年)や「高円寺アパートメント」(2017年)では住人と共に住宅を運営、主宰する「大家の学校」(2016年)で愛ある大家を育成する。生まれ育った豊島区を起点に都電荒川線沿線に飲食店「都電テーブル」(2015年)を展開、「南池袋公園」(2016年)や池袋東口グリーン大通りを舞台にした「IKEBUKURO LIVING LOOP」(2017年)では地元企業と共創して官民連携事業に取り組み、グッドデザイン賞2024で地域社会デザインのグッドフォーカス賞(日本商工会議所会頭賞)受賞。著書に『パブリックライフー人とまちが育つ共同住宅・飲食店・公園・ストリート』(馬場未織共著)、日本全国で人と空間の関係を編集してパブリックライフを創造している。

アリソン 理恵

1982年宮崎県出身。東京工業大学 大学院博士課程 単位取得退学NMBW、アトリエアンドアイ勤務を経て、2015年に一級建築士事務所teco開設、共同主宰。2020年より豊島区東長崎にて一級建築士事務所ara、コーヒーションMIA MIA、カルチュラル・キオスク AMを営み、誰でもプロジェクトを起こしやすい環境としての日常風景を提案している。また生活者の視点から、町を自分たちの場所として整え「町の営繕」を実践中。2010年日本建築学会作品選奨、2016年ヴェネチアビエンナーレ審査員特別表彰、2024年これからの建築士賞など。

柳原 優紀

英国Glasgow芸術大学を経て、京都精華大学芸術学部卒業。出版社にて旅雑誌やライフスタイル誌の編集に携わり、国内外の取材編集に携わった後、「土地の力を守りながら育てるためのものづくり」をポリシーに編集事務所を設立。旅行業の知見を併せ持つ体制で、地域や生産者とともにメディア制作の領域にとどまらない新しい地域ツーリズムの仕組みづくり、ブランディング、広報を行う。「まちの編集思考」を携えて、まちづくりの魅力の発信力向上に取り組み中。

柳瀬 武彦

東京都練馬区生まれ。埼玉県小川町在住。早稲田大学スポーツ科学部に在学中、賞賛旅行に明け暮れる中でコミュニケーションに興味を持ち、広告会社に入社。イベントプロデューサー、コピーライターを経て2016年に独立、2019年に喫茶「PEOPLE」を開業。二拠点生活を経て、2022年埼玉県小川町に拠点を移し、本座「BOTABOOKS」、クリエイティブスタジオ「UNE STUDIO」、コレクティブファーム「UNFARM」をはじめ、2023年にPodcast「おがわのね」を開始。趣味は移動と運動と音楽鑑賞。天バ。桑沢デザイン研究所非常勤講師。

タイムスケジュール

Homeroom オンライン 9/9[木]
19:00～ **ホームルーム** 21:00まで

School DAY 1 10/2[金]
10:00～ 受付
10:30～ 開校式・オープニングアクト・ガイダンス
11:50～ 対象案件見学・まち歩き・ユニットワーク
17:00～ ファーストプレゼン
18:00～ ユニットワーク
18:30～ ライブアクト① 19:15まで
19:30～ オープニングパーティ 21:00まで

School DAY 2 10/3[土]
9:00～ ライブアクト②
9:45～ ユニットワーク
17:00～ セカンドプレゼン
18:30～ ユニットワーク
19:00～ ライブアクト③ 19:15まで
19:45～ ユニットワーク 22:00まで

School DAY 3 10/4[日]
9:00～ ユニットワーク 14:30まで
15:30～ ファイナルプレゼン・クロージングトークセッション・開校式 18:05まで
18:30～ クロージングパーティ 20:30まで

※原則、参加者の方には全日程参加いただきます



参加申込フォーム

●事前申込制(選考あり) ●〆切: 8月16日(日)24時
●お問合せ先 ●新潟市都市政策部 ●Mail: niigata2km@city.niigata.jp



参加申込フォーム

ファイナルプレゼン

ファイナルプレゼン